ESMPRO®/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver5.6
１ライセンス/４ライセンス
セットアップカード

Express5800 シリーズ

UL1046-903　　UL1046-913

第１章 製品内容

第２章 セットアップの準備

第３章 セットアップの方法

第４章 注意事項

第５章 用語集

第13版

2026年10月

© NEC Corporation 2026

ごあいさつ

このたびは ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver5.6をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項を中心に構成されています。ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver5.6をご使用になる前に、必ずお読みください。

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
ESMPRO は、日本電気株式会社の登録商標です。
VMware is a registered trademark or trademark of Broadcom in the United States and other countries. The term “Broadcom” refers to Broadcom Inc. and/or its subsidiaries.
その他の会社および製品の名称は、総てそれぞれの所有する登録商標または商標です。

更新履歴

版数	更新日付	更新内容
第 1 版	2024/06/06	新規作成
第 2 版	2024/06/06	VMware 製品の商標登録を修正
第 3 版	2024/12/27	文書全般のフォントおよび文字間隔の調整
第 4 版	2025/04/28	「２.１ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション のセットアップ環境」「＜ハードウェア＞」を更新
第 5 版	2025/06/16	「３.２ ESMPRO Platform Management Kit からのインストール」に PMK 1.007.01 の注意(3)を記載
第 6 版	2025/06/30	社外 HP のリンク情報を更新
第 7 版	2025/08/29	VMware ESX 9.0 サポートに伴い、ESXi の記載を ESXi/ESX に変更
第 8 版	2025/10/31	「２.１ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション のセットアップ環境」「＜ハードウェア＞」を更新
第 9 版	2025/12/02	「２.１ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション のセットアップ環境」に AC-Link の記述について記載
第 10 版	2025/12/26	「２.１ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション のセットアップ環境」の対応 OS 更新 「３.２ ESMPRO Platform Management Kit からのインストール」に PMK 1.008.01 の記載を追加
第 11 版	2026/03/31	「２.１ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション のセットアップ環境」「＜ハードウェア＞」を更新
第 12 版	2026/06/30	「２.１ ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション のセットアップ環境」の対応 OS 更新 「３.２ ESMPRO Platform Management Kit からのインストール」に PMK 1.009.01 の記載を追加
第 13 版	2026/10/30	サポート OS から Windows 10 を削除

目次

第１章　製品内容 5

第２章　セットアップの準備 6

２.１　ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのセットアップ環境 6

第３章　セットアップの方法 10

３.１　ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのインストール 10
３.１.１　新規インストールの場合 11
３.１.２　上書きインストールの場合 16
３.１.３　バージョンアップインストールの場合 20
３.２　ESMPRO Platform Management Kit からのインストール 24
３.３　ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのアンインストール 25
３.３.１　『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.6』を用いたアンインストール 25
３.３.２　[コントロール パネル]を用いたアンインストール 29

第４章　注意事項 32

４.１　セットアップ関連 32
４.２　共有フォルダ関連 32
４.３　ウィルススキャンソフト関連 32
４.４　WebSAM SigmaSystemCenter の管理対象サーバ関連 33

第５章　用語集 35

第１章　製品内容

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver5.6のパッケージの内容は、製品に同梱されている「構成品表」に記載されています。

添付品が全部そろっているかどうか、確認してください。

第２章　セットアップの準備

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションをご使用になるためには、マルチサーバ構成内に管理サーバとして ESMPRO/AC Enterprise Ver5.6 以降がセットアップされている必要があります。ESMPRO/AC Enterprise のセットアップ方法は ESMPRO/AC Enterprise のセットアップカードを参照してください。

２.１　ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのセットアップ環境

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションをセットアップするためには、次の環境が必要です。

＜ハードウェア＞

対象機種：Express5800シリーズ、NX7700xシリーズ、iStorage NSシリーズ、
iStorage Mシリーズ(NASオプション)

最新の対応 H/W 状況は、以下をご参照ください。
https://jpn.nec.com/esmpro_ac/ac_environment.html
→　動作環境
→　動作環境一覧

メモリ　：7.5 MB 以上

固定ディスクの空き容量　：70.0 MB 以上

※ AC-LINKの設定
サーバ装置におけるBIOSの設定により、UPSからの電力供給が開始されても、サーバが起動しない場合があります。BIOSの設定を確認してください。

== UPSを使って自動運転を行う場合の注意 ==

サーバ装置の電源とUPS からの電源供給を連動(リンク)させるときは、サーバ装置のBIOSの設定で、AC-LINK（AC連動モード）を「Power ON」（サーバ機種により「Always Power On」の場合があります）にしていただく必要があります。BIOSの設定方法については、サーバにより異なります。サーバ装置のユーザーズガイドを参照してください。

注意：AC-LINK は、サーバ機種により「After Power Failure 」あるいは「Automatic Power-On」と記載されている場合があります。例えば、iLO機能のある機種では、System Utilities(F9) > System Configuration > BIOS/Platform Configuration(RBSU) > System Options > Server Availability > Automatic Power-Onで「Always Power On」に設定します。

「Power ON」相当の設定の可否により、提供できる機能が異なります。

設定不可	電源障害(停電など)発生による安全なシャットダウンはできますが、電源障害回復後のサーバ自動起動はできません。 また、スケジュールによるサーバの自動シャットダウンはできますが、スケジュールによるサーバの自動起動はできません。
設定可能	電源障害(停電など)シャットダウン後の電源障害回復によるサーバの自動起動、およびスケジュールによるサーバの自動シャットダウン／自動起動運転ができます。 電源障害(停電など)シャットダウン後の電源障害回復によるサーバの自動起動、あるいはスケジュールによるサーバの自動起動を行われる場合は、「Power ON」に設定してください。 **注意：サーバによっては工場出荷時に「Last State」と設定されているものがありますので、運用前にサーバ装置の BIOS 設定を確認することを強くお奨めします。**

表２－１

＜ソフトウェア＞

Windows Server 2025 Essentials/Standard/Datacenter
Windows Server 2022 Essentials/Standard/Datacenter
Windows Server 2019 Essentials/Standard/Datacenter
Windows Server 2016 Essentials/Standard/Datacenter
Windows 11 Pro ※2
VMware ESXi 7/8, ESX 9　※1

最新の対応 OS 状況は、以下をご参照ください。

https://jpn.nec.com/esmpro_ac/ac_environment.html
→　動作環境
→　対応 OS 一覧

※　ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションをx64のOSで動作させる場合、WOW64がサポートされている必要があります。

※　Windows Server IoT 2025 for Storage Workgroup Edition、
Windows Server IoT 2022 for Storage Workgroup Edition、
Windows Server IoT 2019 for Storage Workgroup Edition、
Windows Storage Server 2016は、iStorage NSシリーズのみに対応しています。
https://jpn.nec.com/istorage/product/nas/ns/lineup.html?

※1 Express5800 シリーズにVMware ESXi/ESX をインストールし、ESMPRO/AC Enterpriseによる電源管理/自動運転を行う場合、以下の注意事項があります。
- VMware ESXi/ESXの電源制御を行う際、VMware ESXi/ESX に使用するライセンスに条件が発生します。
ESXi/ESX Hypervisor エディション等の無償版ライセンス製品では、電源制御が行えません。Standardエディションなど有償ライセンス製品をご利用ください。
- 仮想サーバ(ESXi/ESX)および(ESXi/ESX上で動作する)仮想マシンには、電源制御ソフトウェアのインストールは不要です。制御端末のライセンス管理ツールにてESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのライセンスキーを登録してください。

※2 当該OSは「WebSAM SigmaSystemCenterの管理対象サーバ」として登録することはできません。

ESMPRO/AutomaticRunningControllerおよび各オプションパッケージ製品のアップデートを下記サイトに公開しています。未適用のアップデートがございましたら、ダウンロードし適用してください。

https://www.support.nec.co.jp/PSHome.aspx
→ 修正物件ダウンロード
→ 製品名・カテゴリから探す
→ ESMPRO/AutomaticRunningController

ESMPRO/ACにて仮想マシンの順序シャットダウン／順序起動を行う場合は、下記資料をご参照ください。

https://jpn.nec.com/esmpro_ac/ac_download.html
→ ダウンロード
→ 各種資料
→ 仮想マシン順序設定マニュアル

ESMPRO Platform Management Kit内のESMPRO/ServerManager、ESMPRO/ServerManager Ver. 7.12と連携する場合は、ESMPRO Platform Management Kit内のESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションまたはESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver5.6を組み合わせてご利用願います。
ESMPRO Platform Management Kit内のESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションをインストールした場合、ライセンスキーの登録を行うことなく ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションをインストールすることが可能ですが、ライセンスキーを登録しない場合、ソフトウェア動作は無停電電源装置(UPS)の管理のみに制限されます。無停電電源装置(UPS)の管理以外の機能を使う場合には、以下のライセンスキーのいずれかをご購入の上で、ライセンスキーの登録をお願いします。

UL1046-903、UL1046-913

第３章　セットアップの方法

※注意

対象サーバに VMware ESXi/ESX をインストールしている場合、以下のセットアップ作業は不要です。
製品添付のライセンスキーの登録を行ってください。
ライセンスキーの登録は、ESMPRO/AC Enterprise をセットアップした制御端末上の [スタート] → [すべてのプログラム] → [ESMPRO/AutomaticRunningController] → [ESMPRO_AC ライセンス] から行ってください。
ライセンスキーの登録方法については、ESMPRO/AutomaticRunningController のセットアップカードを参照してください。

３.１　ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのインストール

Administratorもしくは Administrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンし、ラベルに『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.6』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

注意

- 上書きインストール、バージョンアップインストールでは、これまでの運用で設定した情報を保持したまま、モジュールのコピーを行います。
- セットアップの実行中に「終了」および「ｷｬﾝｾﾙ」ボタンを押すと、セットアップ中止の確認のメッセージが表示されます。そのメッセージボックスで「終了」ボタンを押すと、セットアップは中止されます。その場合、途中まで転送されたファイルの削除は行われませんのでご注意ください。
- ESMPRO/AutomaticRunningController の HP より最新のパッチ/修正モジュールを確認し、最新のアップデートを適用願います。
  https://jpn.nec.com/esmpro_ac/update.html?
- CD-ROM ドライブをご利用できない場合は、『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.6』の内容で iso イメージファイルを作成しマウントしてインストールを行ってください。

３．１．１ 新規インストールの場合

（１）CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

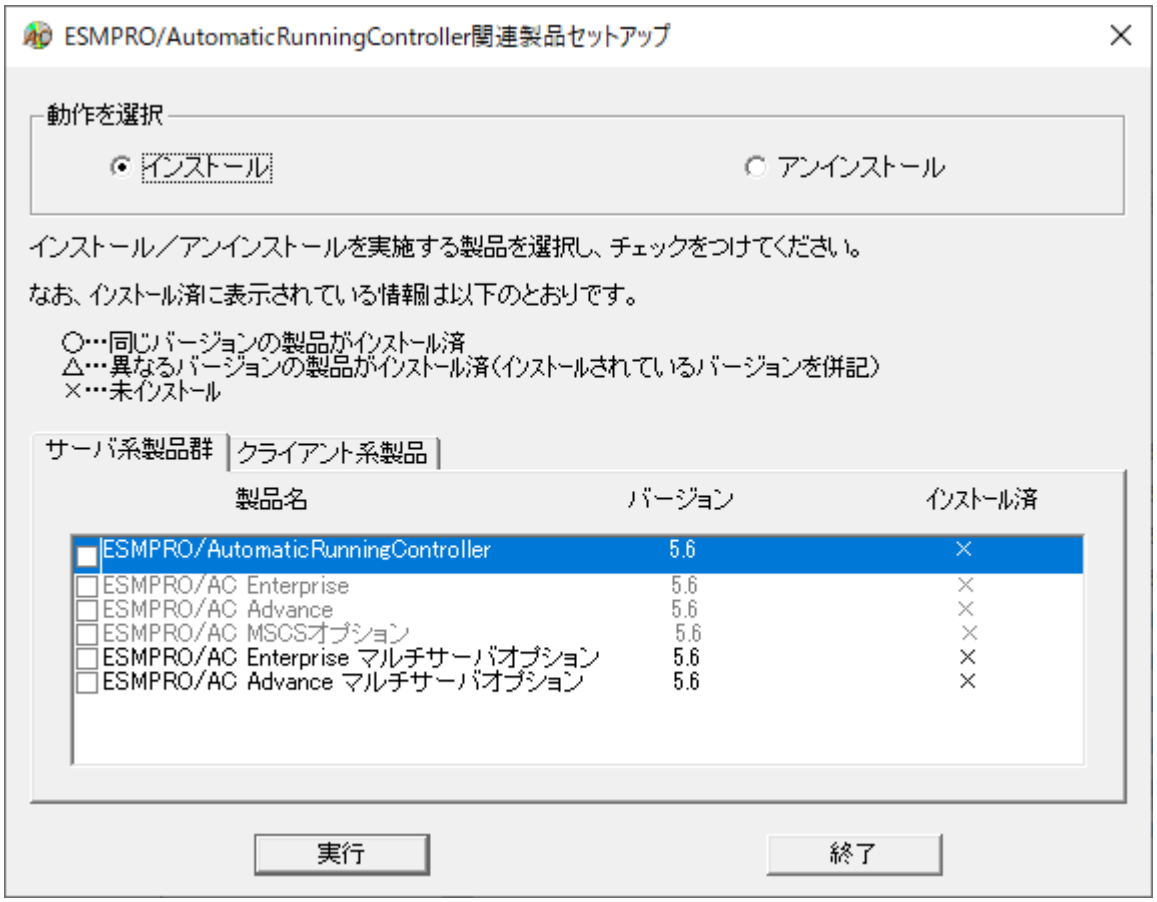

図 ３．１-１

（2）「動作を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中から ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションを選択し、チェックを有効にします。

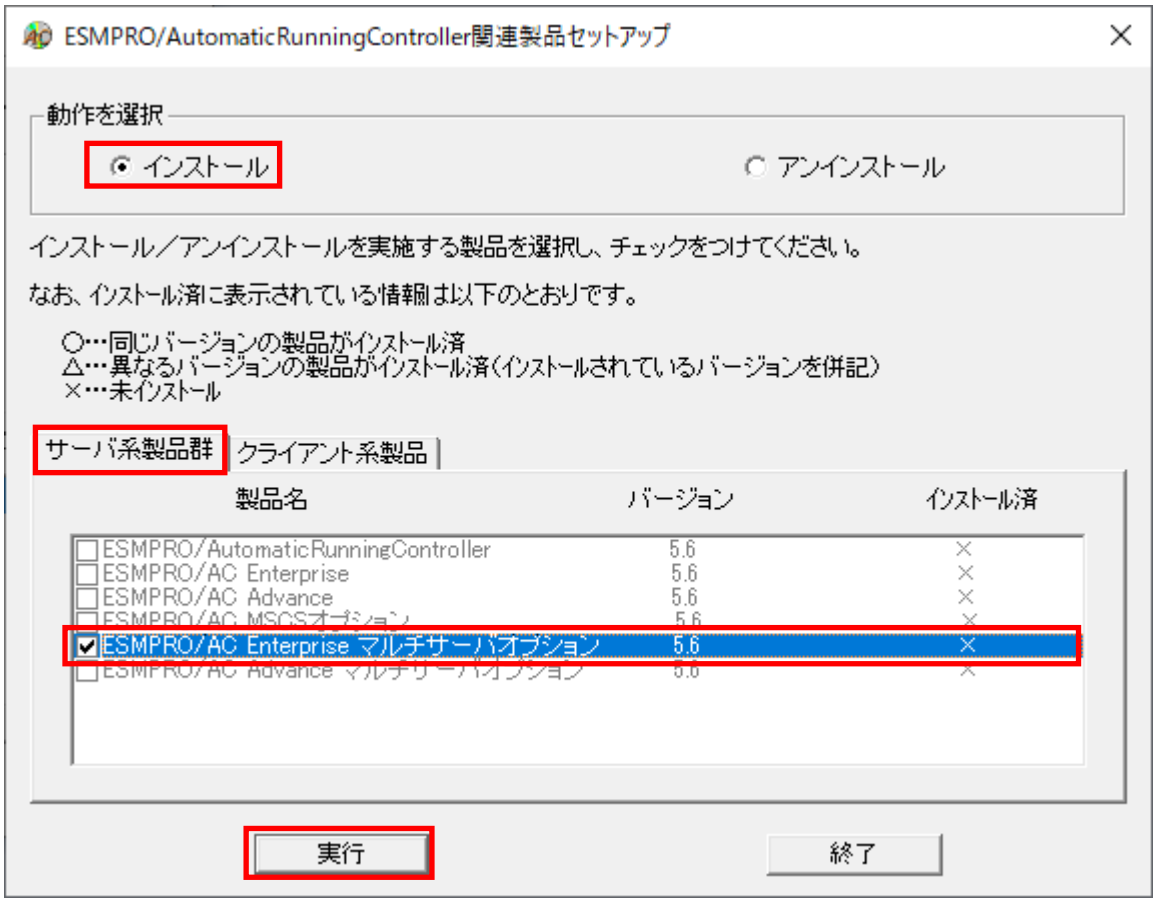

図 3.1-2

（3）「実行」ボタンを選択します。

（4）選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

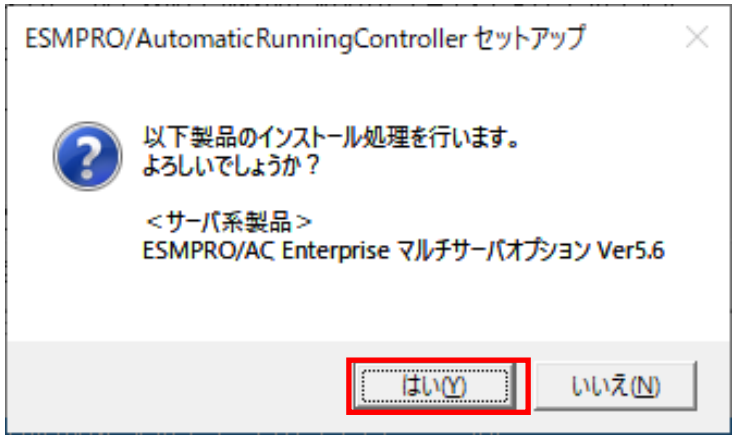

図 3.1-3

（5）ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのセットアップが開始されますので、「次へ」ボタンを選択します。

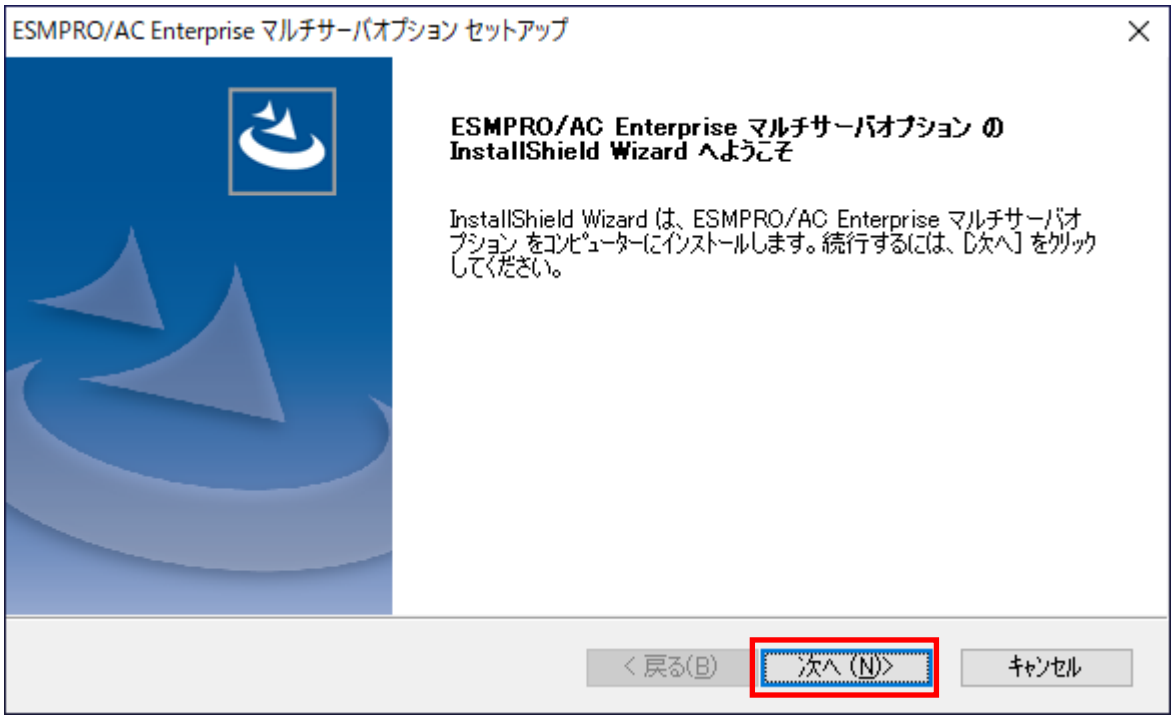

図 3.1-4

（6）続いて、インストール先を選択します。表示されているフォルダとは別のフォルダにインストールする場合は、「参照」ボタンをクリックしてインストール先のフォルダを選択します。
インストール先が決定したら、「次へ」ボタンを選択します。

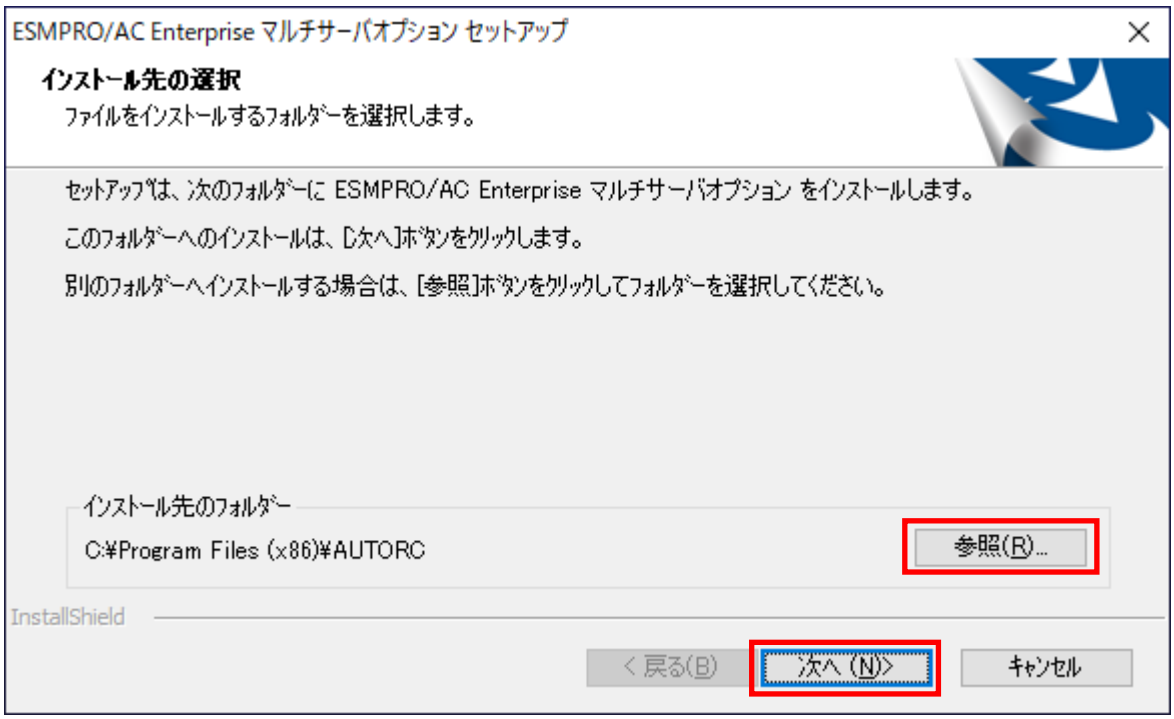

図 3.1-5

（7）ファイルの転送が開始されます。

（8）次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

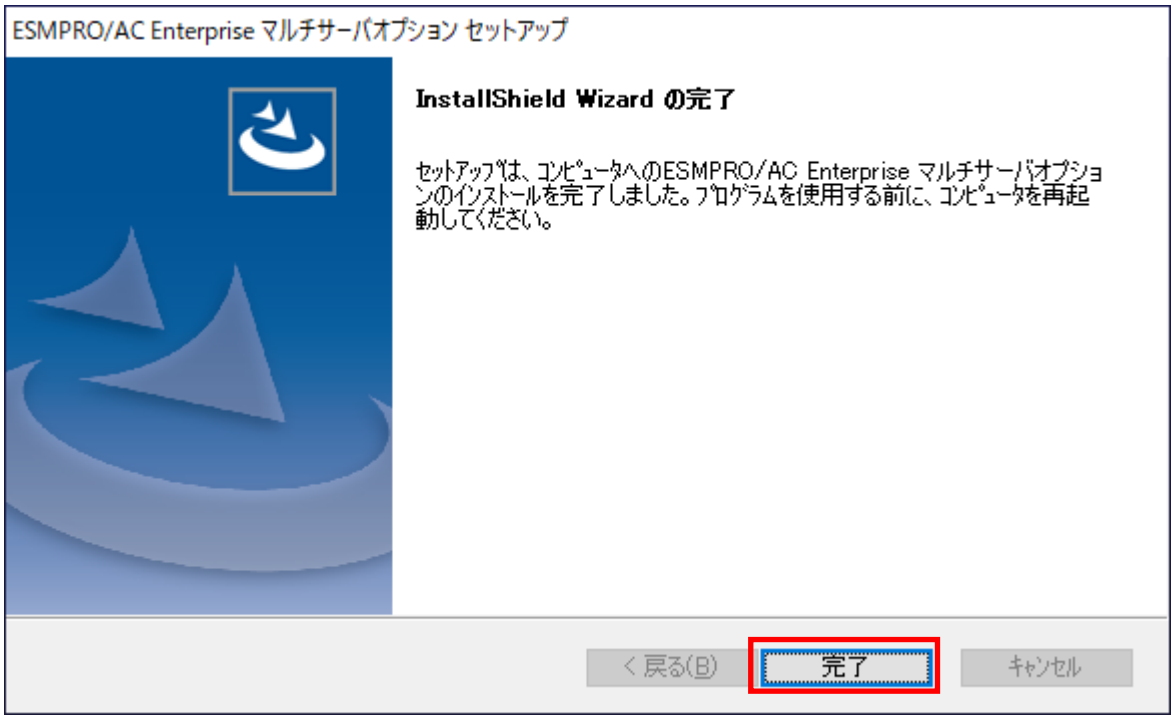

図 3.1-6

（9）最初の画面に戻り、ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのインストール済欄に○およびバージョンが表示されていることを確認します。

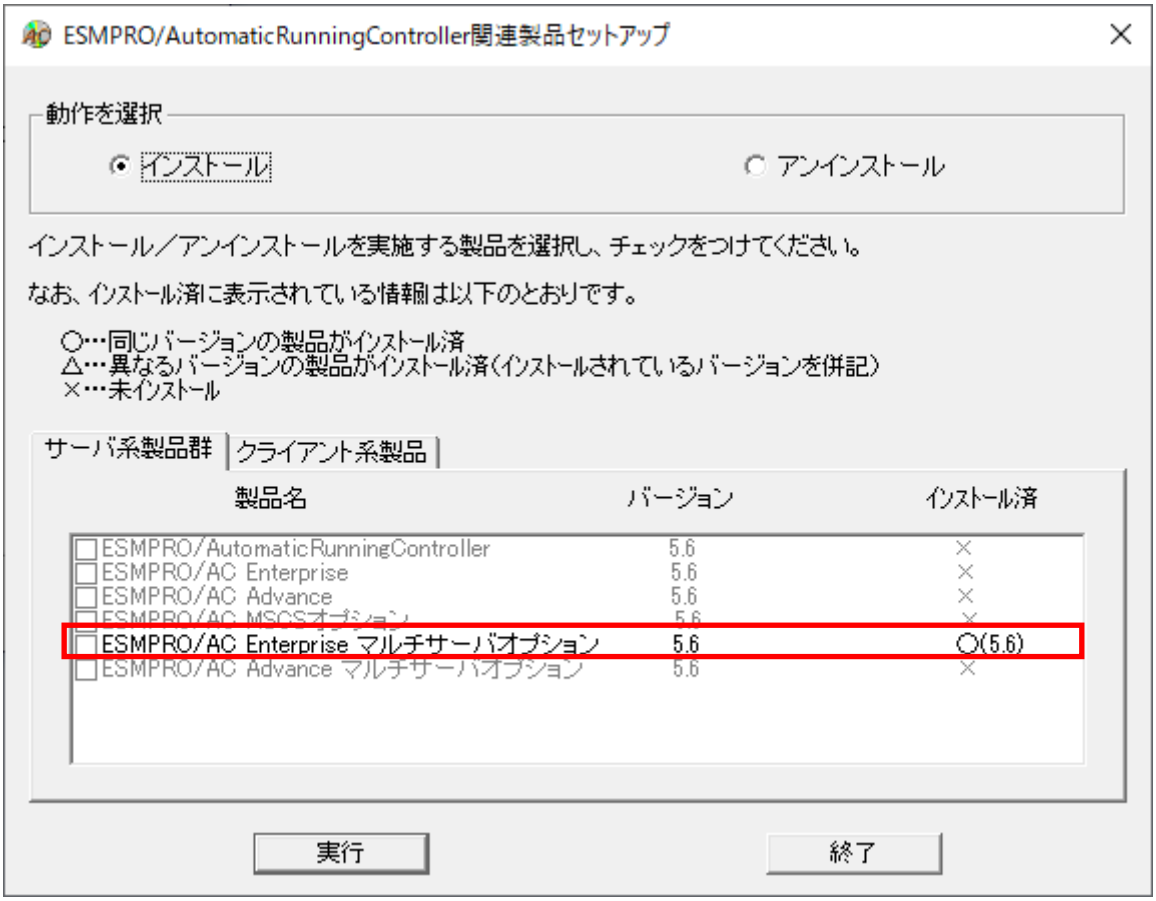

図 3.1-7

（１０）インストール後は、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。

（１１）ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのライセンスキーを登録してください。ライセンスキーの登録は、ESMPRO/AC Enterpriseをセットアップした制御端末上の [スタート] → [すべてのプログラム] → [ESMPRO/AutomaticRunningController] → [ESMPRO_AC ライセンス] から行ってください。
ライセンスキーの登録方法については、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのセットアップカードを参照してください。

３．１．２ 上書きインストールの場合

（１）CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

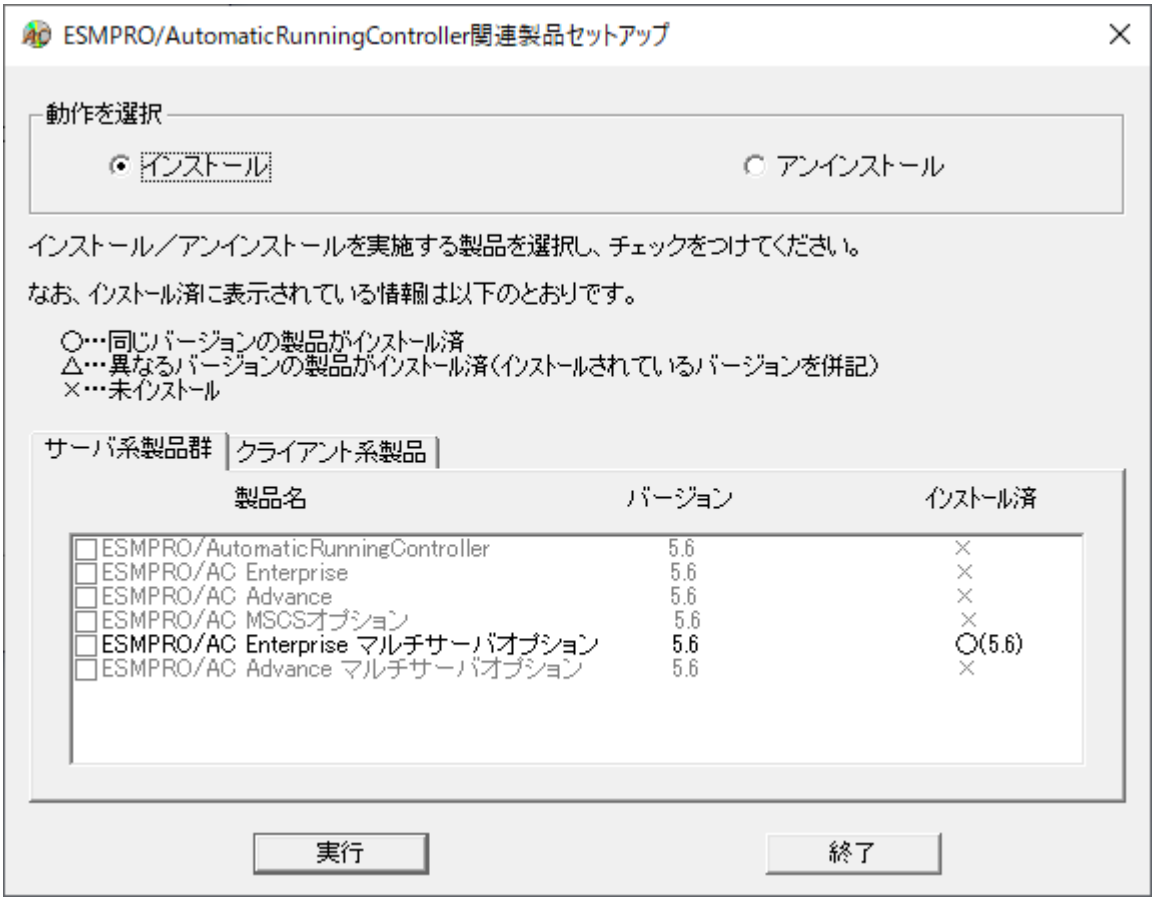

図 3.1-8

（2）「動作を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中から ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションを選択し、チェックを有効にします。

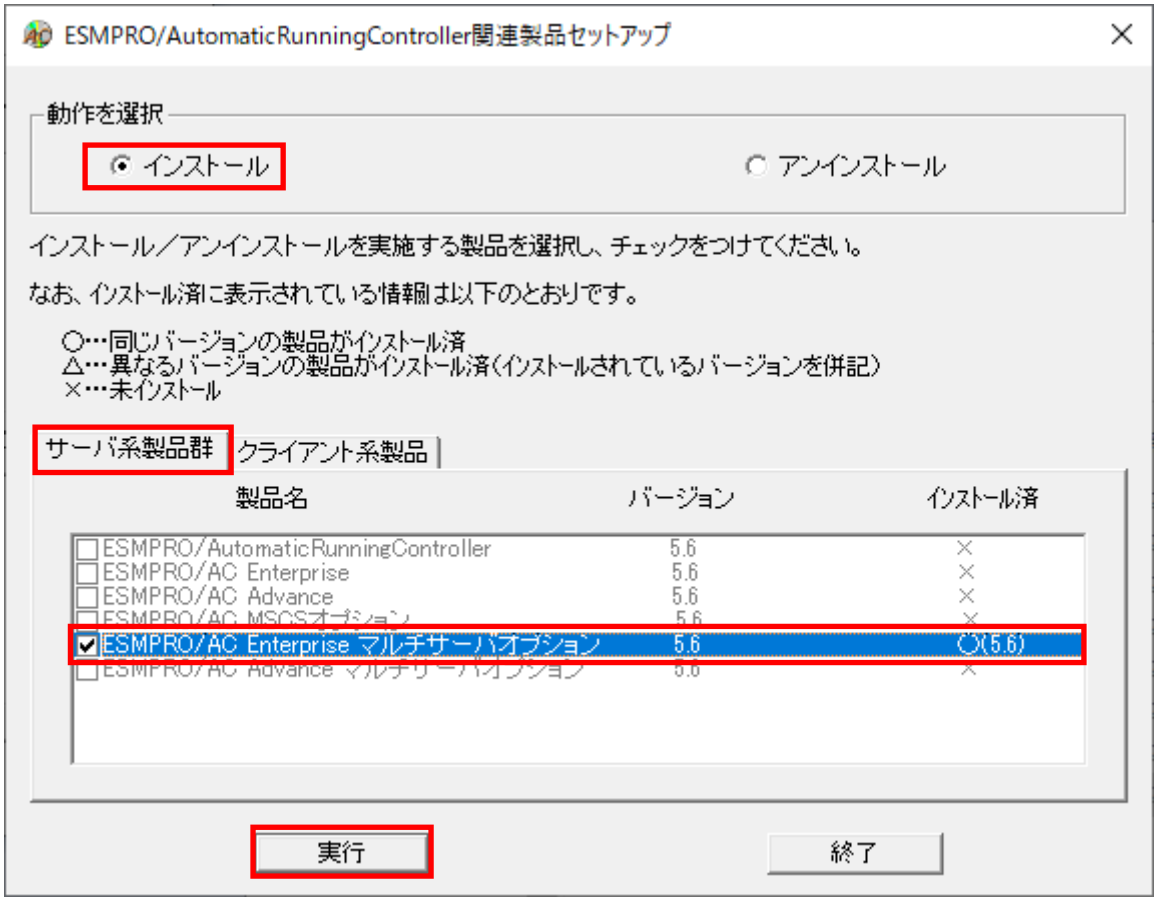

図 3.1-9

（3）「実行」ボタンを選択します。

（4）選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

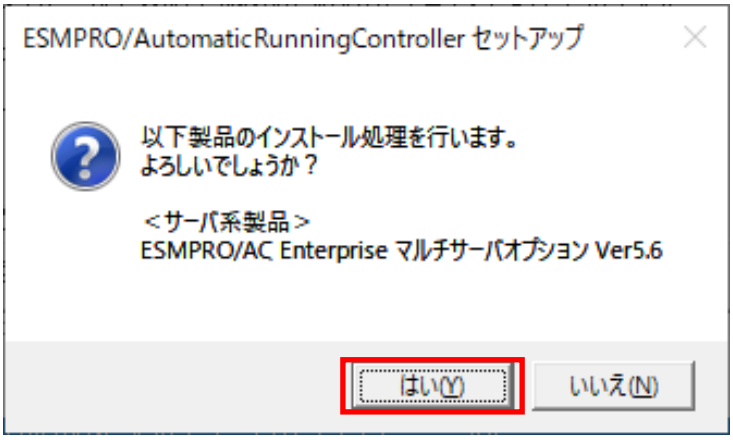

図 3.1-10

（5）ESMPRO/AC Enterpriseマルチサーバオプションのセットアップが開始され、上書きインストールを実施するか表示されます。インストールを継続する場合は「はい」を選択します。

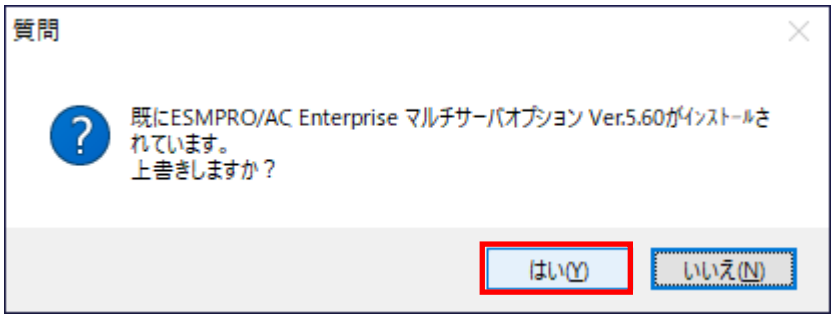

図 3.1-11

（6）ファイルの転送が開始されます。

（7）次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

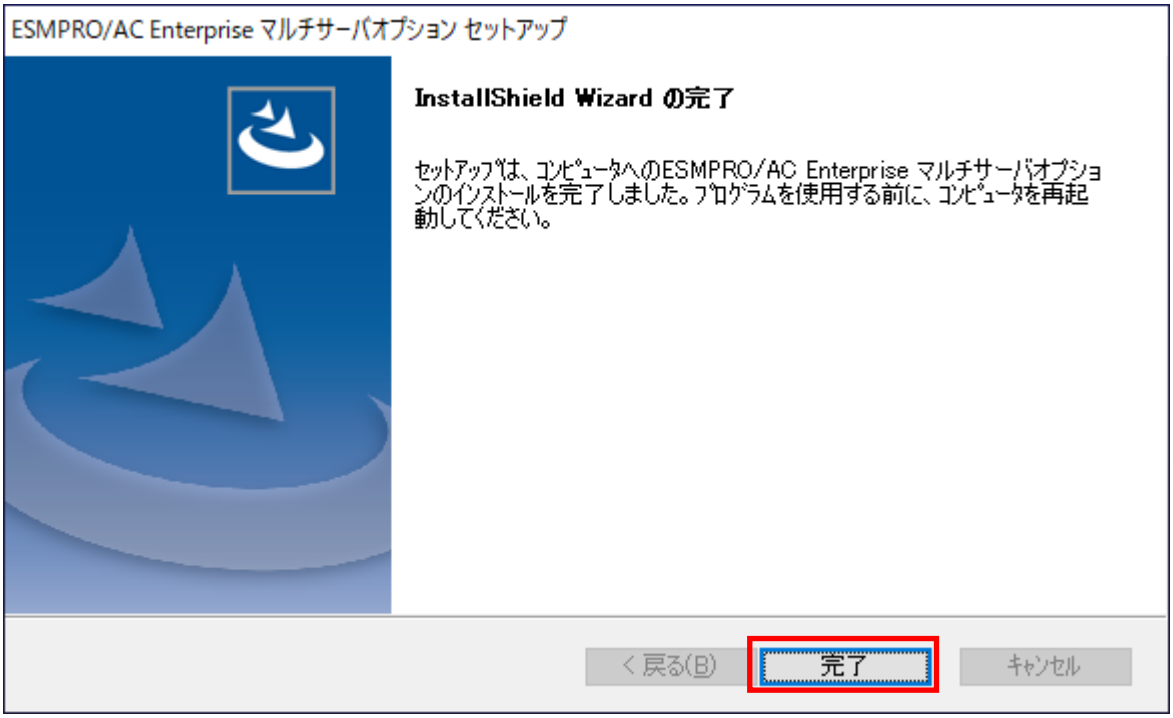

図 3.1-12

（８）最初の画面に戻り、ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのインストール済欄に○およびバージョンが表示されていることを確認します。

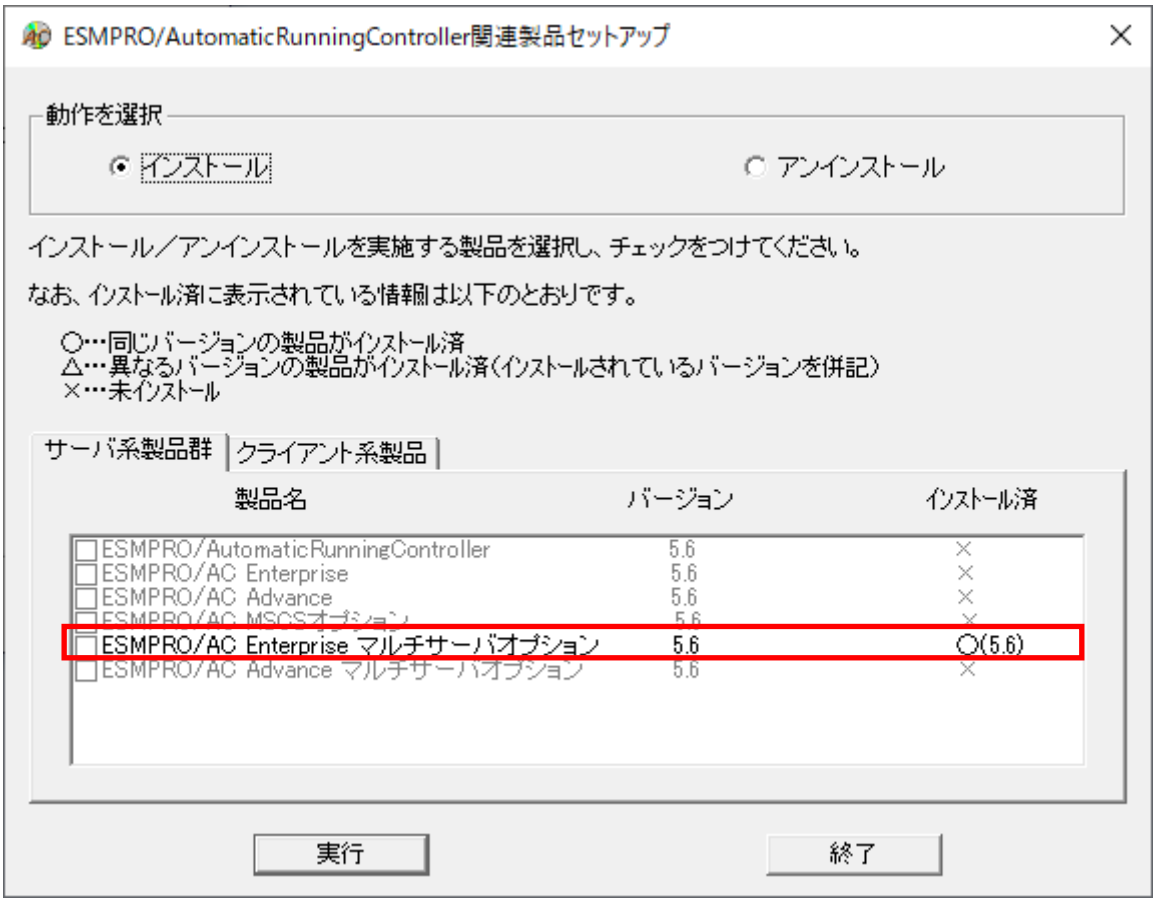

図 3.1-13

（９）インストール後は、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。

（１０）ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのライセンスキーを登録してください。ライセンスキーの登録は、ESMPRO/AC Enterpriseをセットアップした制御端末上の [スタート] → [すべてのプログラム] → [ESMPRO/AutomaticRunningController] → [ESMPRO_AC ライセンス] から行ってください。
ライセンスキーの登録方法については、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのセットアップカードを参照してください。

３．１．３ バージョンアップインストールの場合

（１）CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

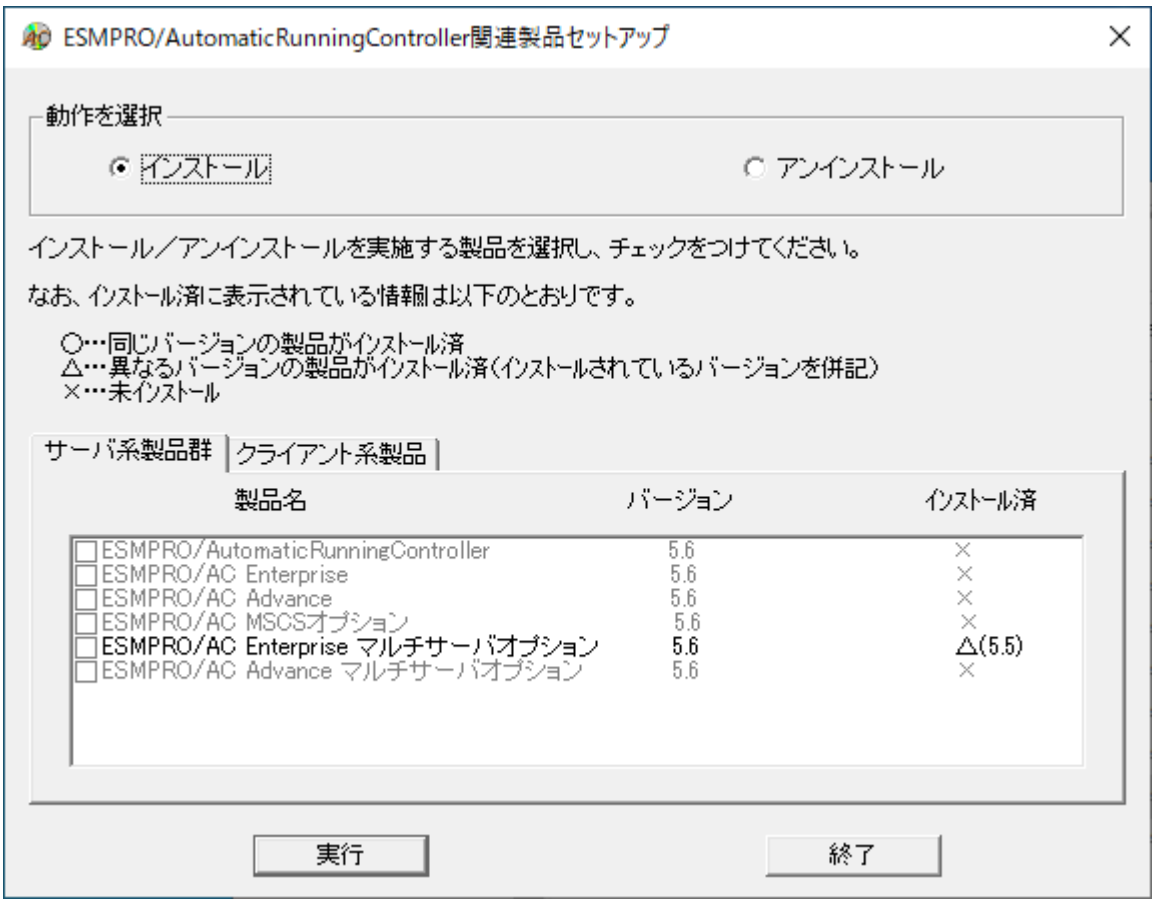

図 ３．１-１４

（2）「動作を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中から ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションを選択し、チェックを有効にします。

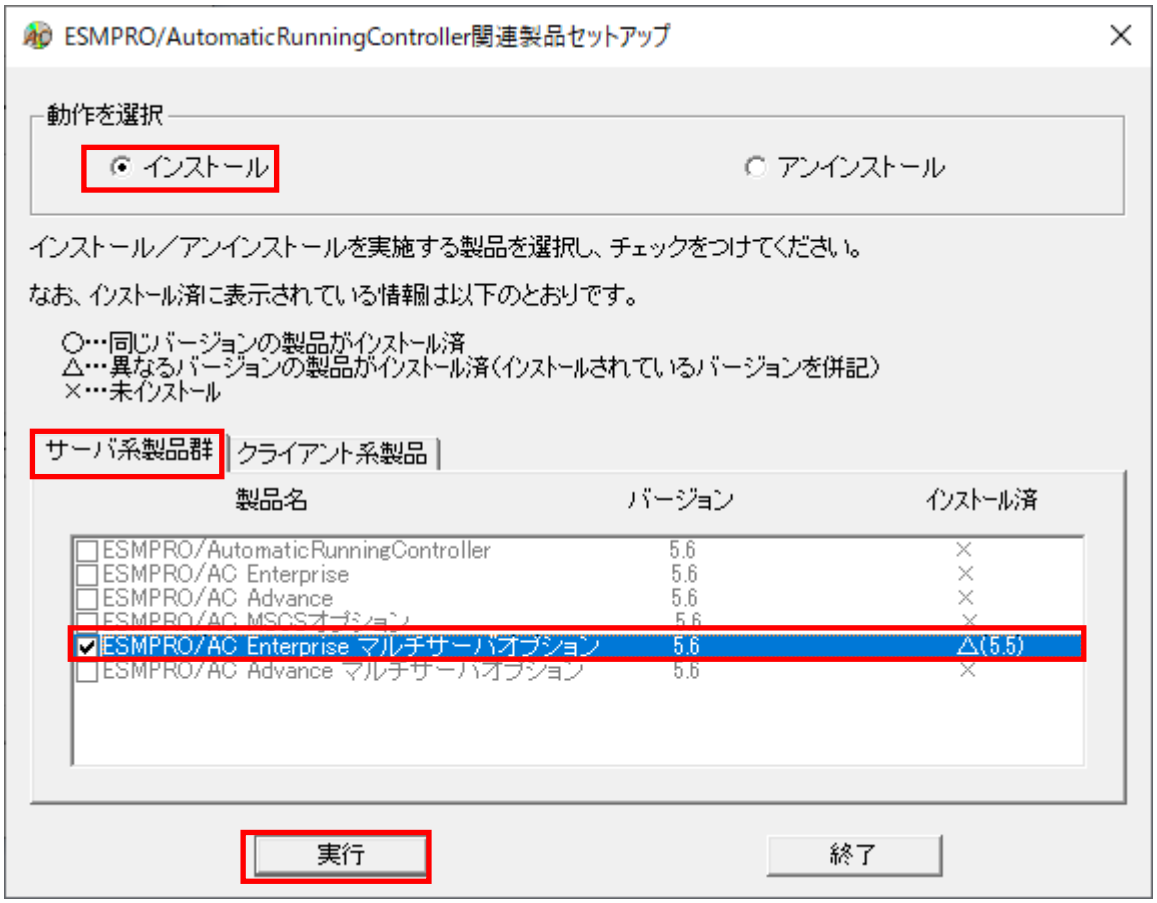

図 3.1-15

（3）「実行」ボタンを選択します。

（4）選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

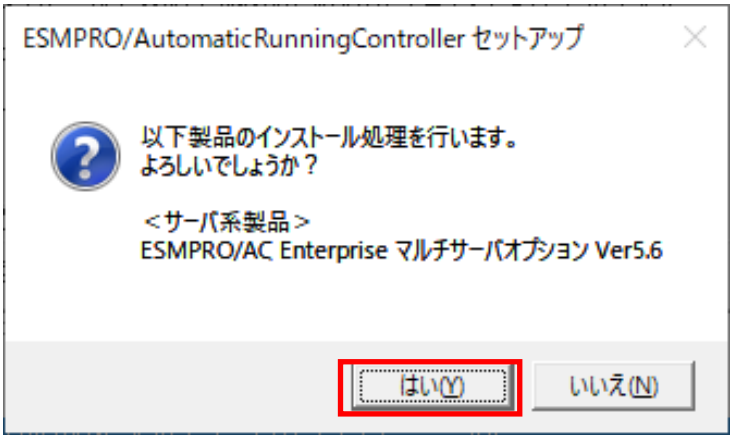

図 3.1-16

（5）ESMPRO/AC Enterpriseマルチサーバオプションのセットアップが開始され、上書きインストールを実施するか表示されます。インストールを継続する場合は「はい」を選択します。

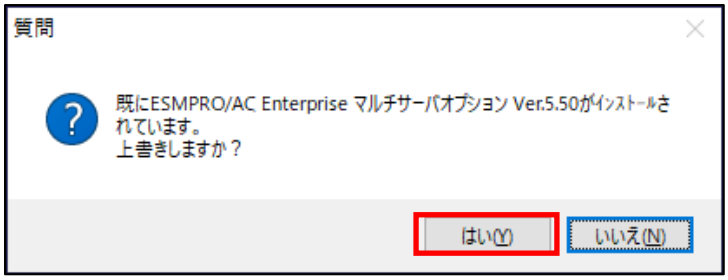

図 3.1-17

（6）ファイルの転送が開始されます。

（7）次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

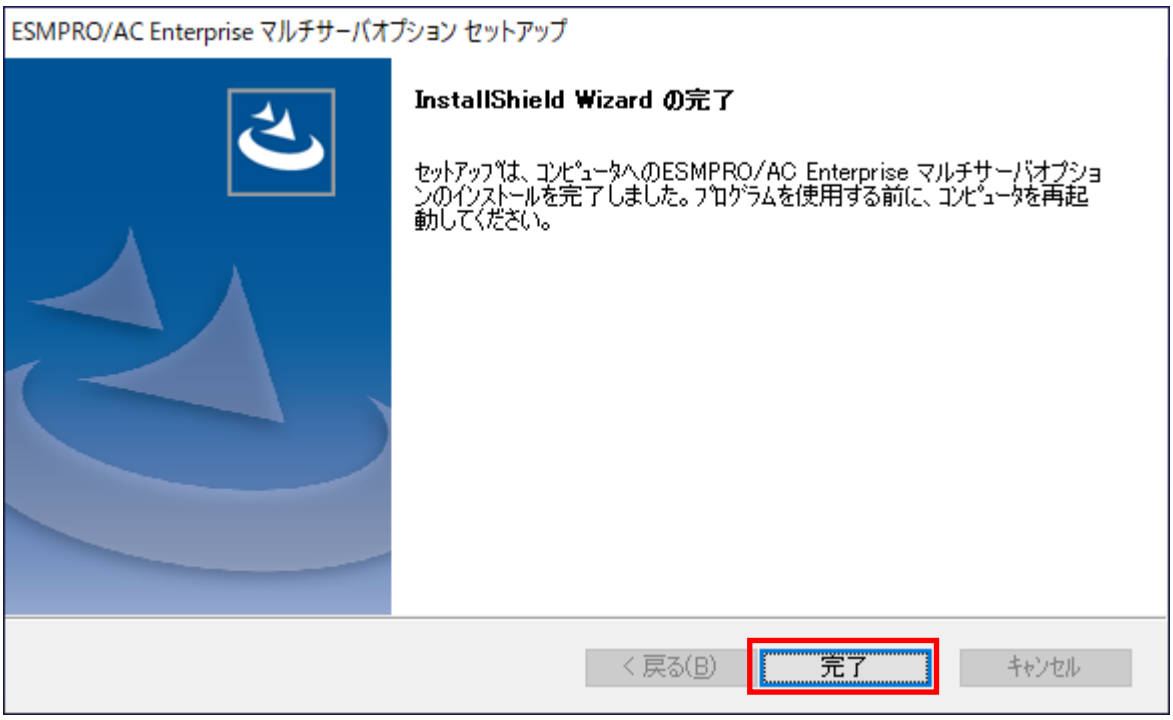

図 3.1-18

（８）最初の画面に戻り、ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのインストール済欄に○およびバージョンが表示されていることを確認します。

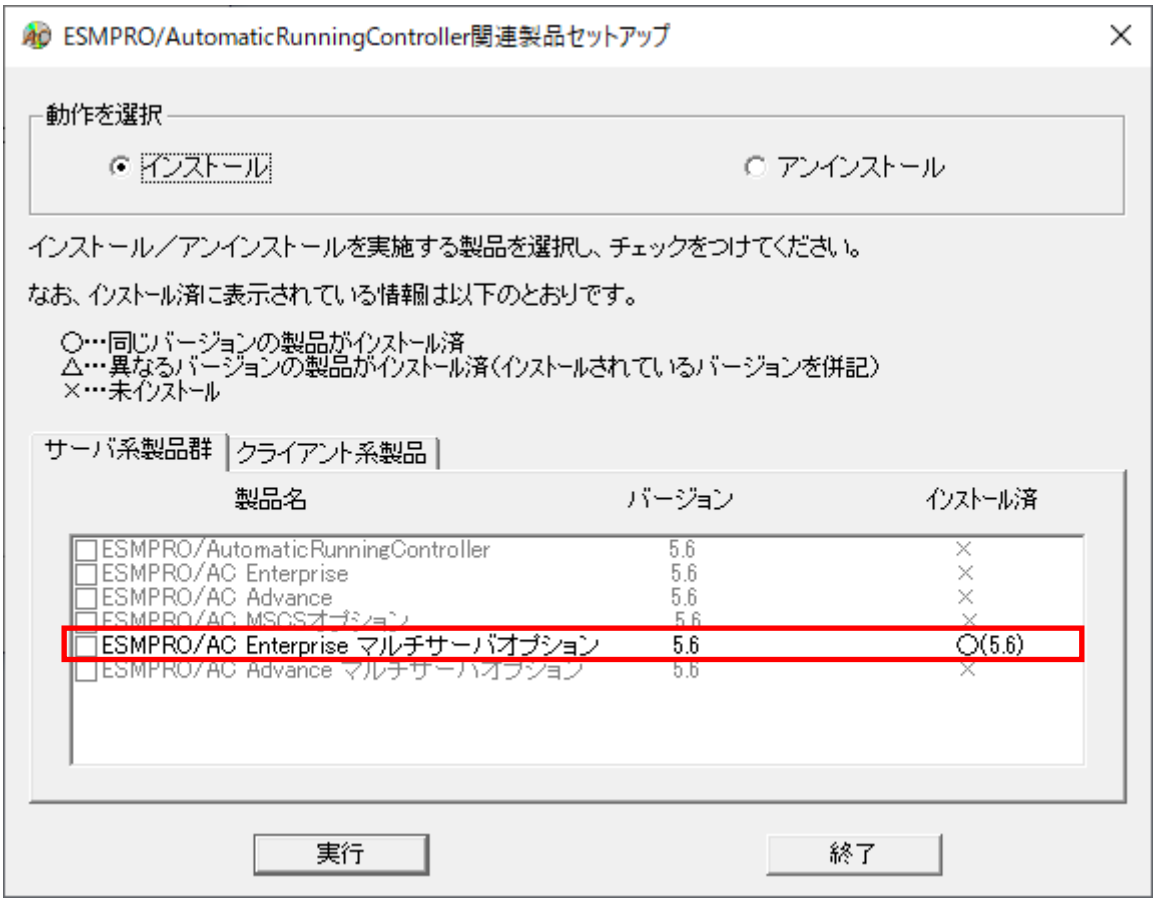

図 3.1-19

（９）インストール後は、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。

（１０）ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのライセンスキーを登録してください。ライセンスキーの登録は、ESMPRO/AC Enterpriseをセットアップした制御端末上の [スタート] → [すべてのプログラム] → [ESMPRO/AutomaticRunningController] → [ESMPRO_AC ライセンス] から行ってください。
ライセンスキーの登録方法については、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのセットアップカードを参照してください。

３.２　ESMPRO Platform Management Kit からのインストール

以下の【対象バージョン】の「ESMPRO Platform Management Kit」より「ESMPRO/AutomaticRunningController Ver5.6」をインストールされる場合は「ESMPROインストールツール ユーザーズガイド」を参照願います。

【対象バージョン】
- ・ESMPRO Platform Management Kit v1.009
- ・ESMPRO Platform Management Kit v1.008
- ・ESMPRO Platform Management Kit v1.007
- ・ESMPRO Platform Management Kit v1.006

注意

(1) ライセンスキーの登録を行わない場合、ソフトウェア動作は無停電電源装置(UPS)の管理のみに制限されます。旧バージョンよりのアップデートインストールを行い、ライセンス適用を行わない場合、アップデート前の動作と同じにならないため、システム運用に問題が発生する可能性があります。アップデートインストールを行う場合は、アップデート完了後に新しいライセンスの適用を行ってからの運用を強く推奨します。
※ライセンス適用を行わない場合は、本ソフトウェアの機能は制限となります。

(2) 「ESMPRO Platform Management Kit Version 1.003.01」以降の「ESMPROインストールツール」「統合インストール」で、ライセンス適用済みのESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション環境に対してアップデートインストールを行うことはできません。項目(1)の注意をお読みの上、「各種アプリケーション」よりアップデートインストールを行ってください。

(3) 「ESMPRO Platform Management Kit v1.008」以降でインストールした場合は、インストール後にインストールイメージの【アップデート格納ディレクトリ】中の『ESMARC56-02-250418.zip』を適用願います。ZIPファイルを解凍し、ファイル解凍後のREADME.TXTにアップデート適用方法の詳細が記載されていますので、参照してください。

【アップデート格納ディレクトリ】
「software¥999¥win¥esmpro_arc¥update」

３.３　ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのアンインストール

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのアンインストールは、下記 2 つの方法があります。下記いずれかの方法にてアンインストールをしてください。

１．『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.6』を用いたアンインストール
２．[コントロール パネル] を用いたアンインストール

３.３.１『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.6』を用いたアンインストール

注意：

- ESMPRO Platform Management Kit よりアンインストールを実行する場合は、「３.３.２ [コントロール パネル] を用いたアンインストール」を行ってください。

- CD-ROM ドライブをご利用できない場合は、『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.6』の内容で iso イメージファイルを作成しマウントしてアンインストールを行ってください。

（１）インストールを行ったAdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンします。
ラベルに『ESMPRO/AutomaticRunningController CD 2.6』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

（２）CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

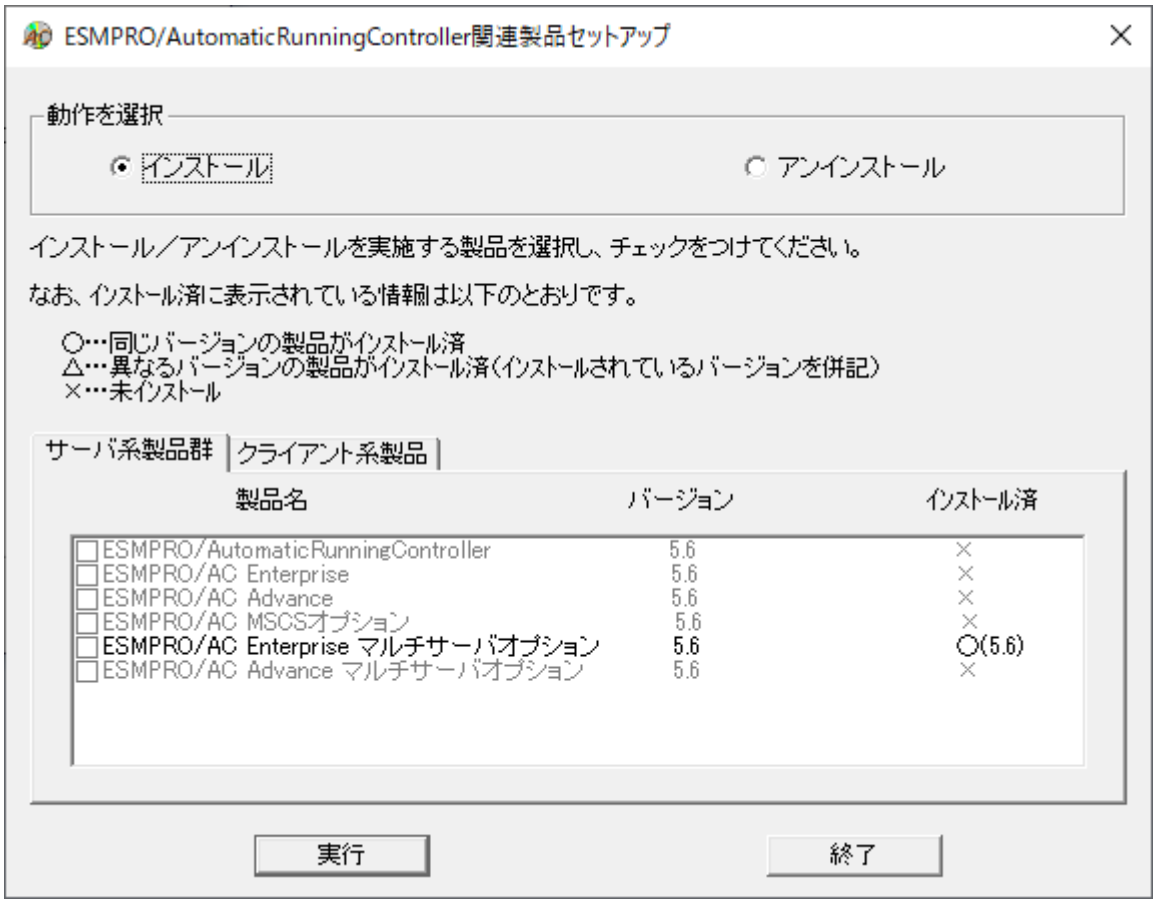

図 3.3-1

（3）「動作を選択」のラジオボタンで「アンインストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中からESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションを選択し、チェックを有効にします。

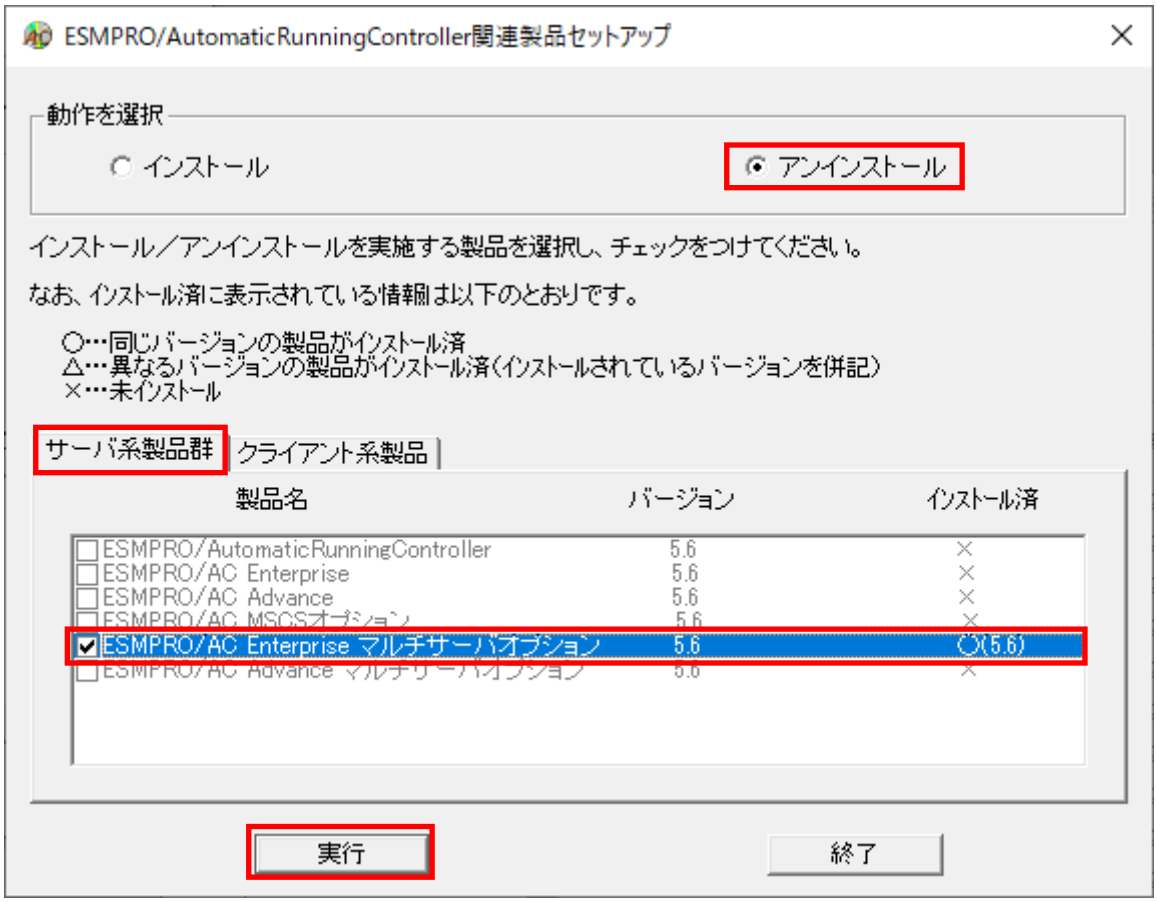

図 3.3-2

（4）「実行」ボタンを選択します。

（5）選択した製品のアンインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

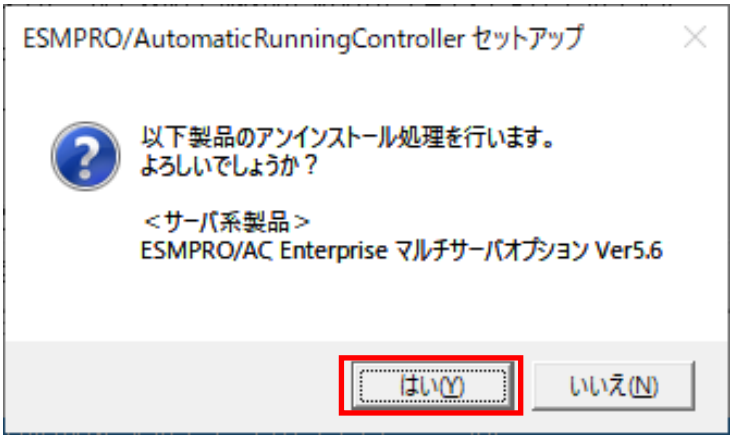

図 3.3-3

（6）インストーラが起動され、もう一度確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

図 3.3-4

（7）ファイルの削除が行われます。

（8）次の画面が表示されたら、アンインストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

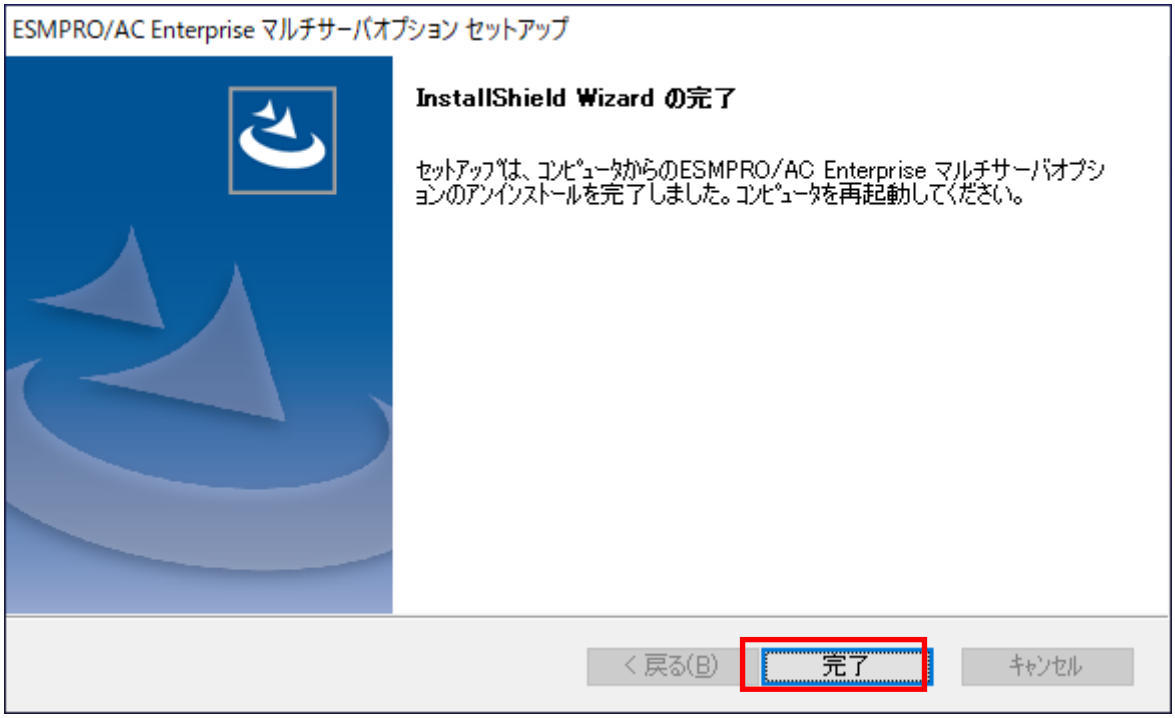

図 3.3-5

（9）最初の画面に戻り、ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのインストール済欄に×が表示されていることを確認します。

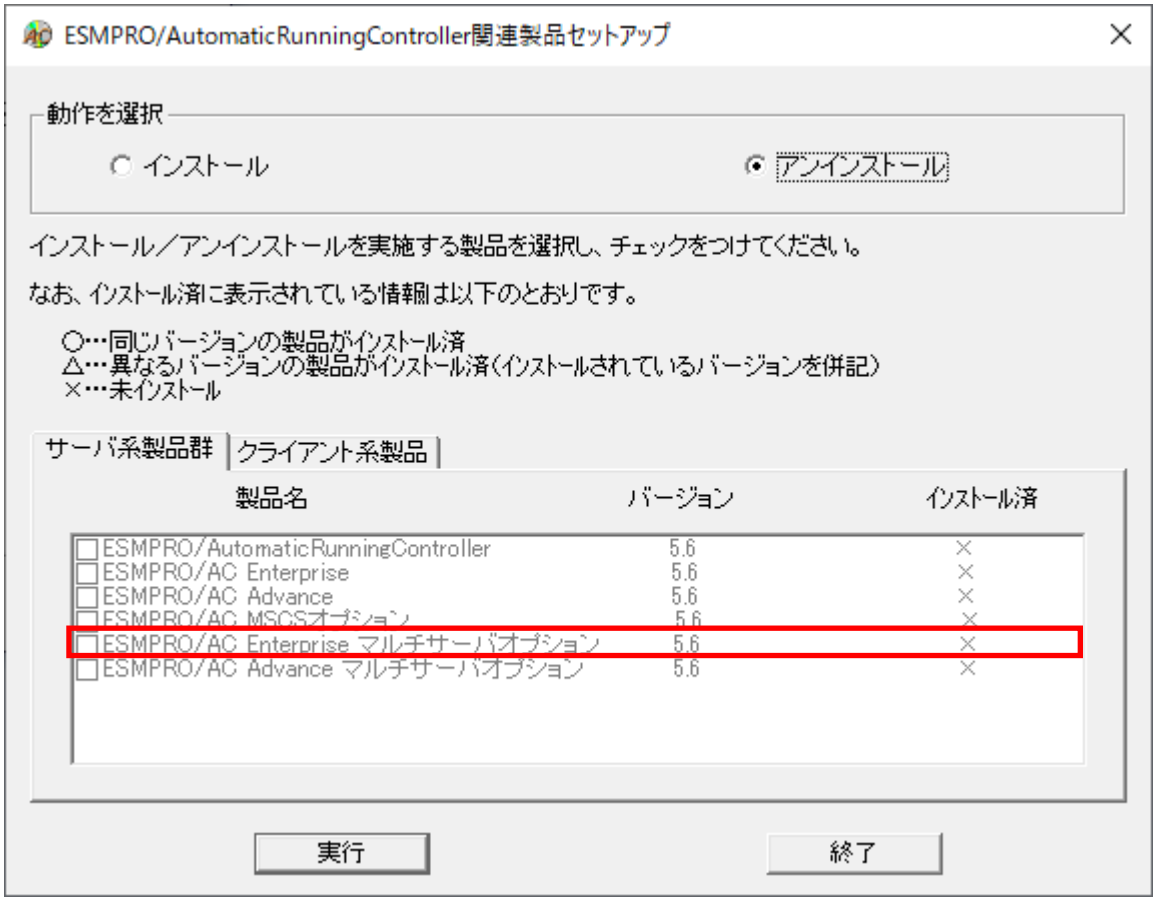

図 3.3-6

（１０）アンインストール後は、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。

３.３.２[コントロール パネル]を用いたアンインストール

（１）インストールを行ったAdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンします。

（２）タスクバーの検索ボックスに ”コントロール” と入力し、検索結果の [コントロール パネル] をクリックします。

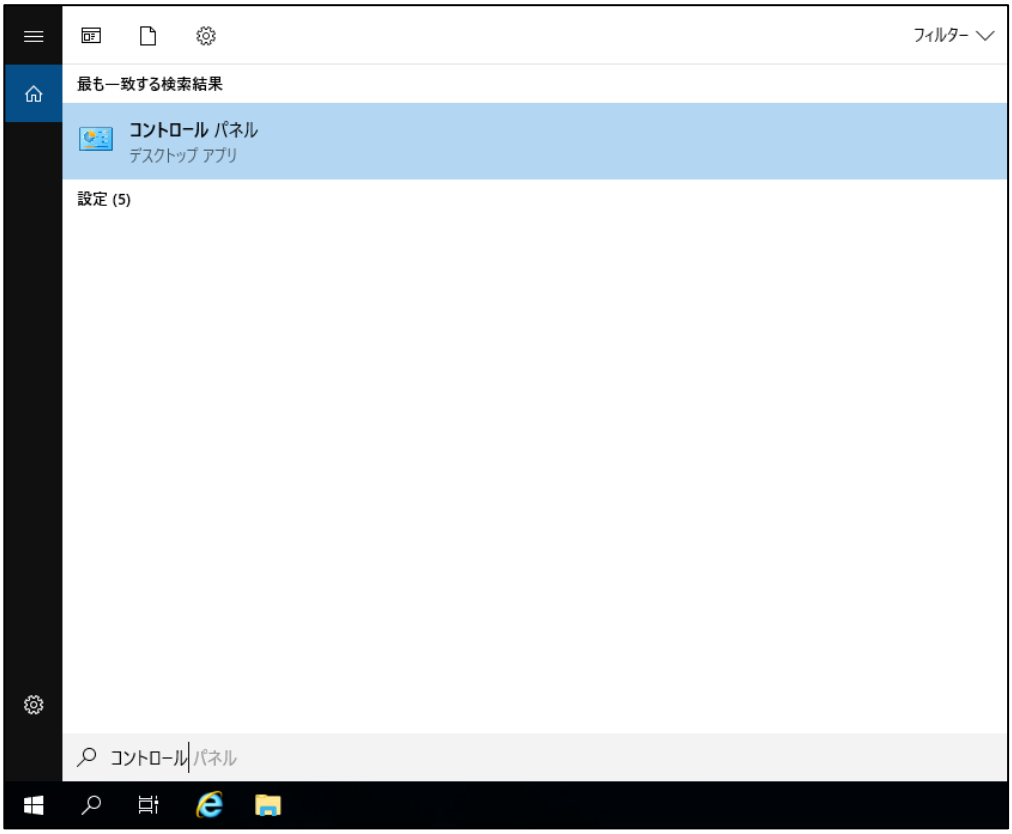

図 3.3-7

（3）コントロールパネルから [プログラム] → [プログラムと機能] をクリックします。

図 3.3-8

（4）ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション をクリックした後、[アンインストール] をクリックします。

図 3.3-9

（5）インストーラが起動され、確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

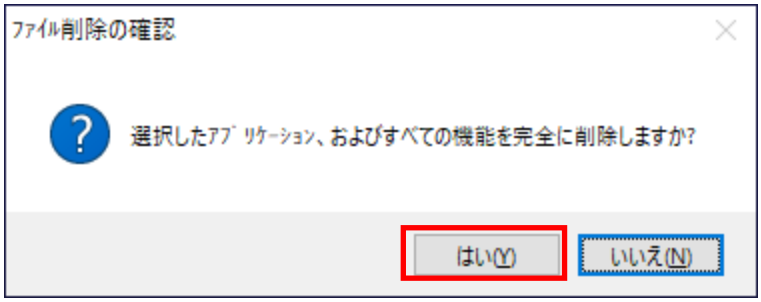

図 3.3-10

（6）ファイルの削除が行われます。

（7）次の画面が表示されたら、アンインストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

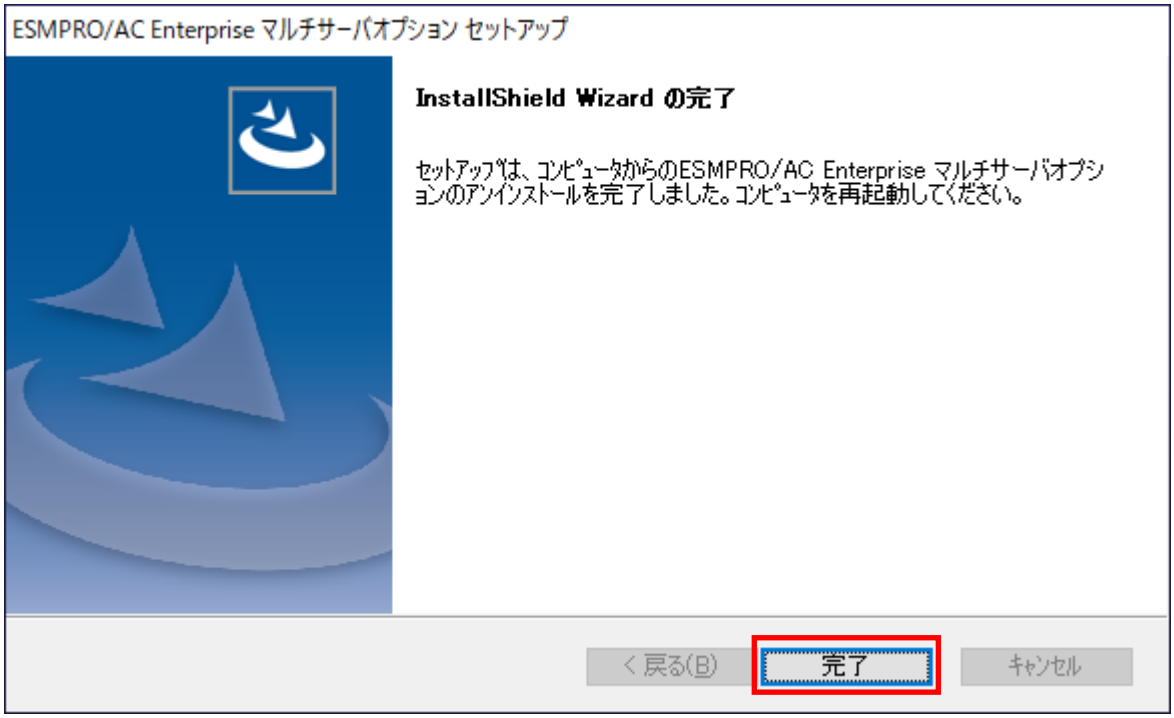

図 3.3-11

（8）アンインストール後は、システムを再起動してください。

第４章　注意事項

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのご使用にあたり、次の事項にご注意ください。

４.１　セットアップ関連

(1) ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver5.6 は、ESMPRO/AC Enterprise Ver5.6 のオプション製品です。したがって、ESMPRO/AC Enterprise Ver5.6 をインストールし、AC Management Console（AMC）機能にて、本サーバを制御対象として登録してある制御サーバが、LAN 上に必要です。設定方法の詳細については「ESMPRO/AC Enterprise Ver5.6 セットアップカード」を参照してください。

(2) 本バージョンの ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションは、JIS2004 で新規追加された文字に対応しておりません。そのため、インストール時のインストールパスや、GUI 操作において、JIS2004 の新規追加文字が含まれるパス情報は指定、入力しないでください。

(3) 連動端末として、Express5800 シリーズに ESXi/ESX をインストールし、ESMPRO/AC Enterprise による電源管理/自動運転を行う場合、以下の注意事項があります。

- VMware ESXi/ESX の電源制御を行う際、VMware ESXi/ESX に使用するライセンスに条件が発生します。ESXi/ESX Hypervisor エディション等の無償版ライセンス製品では、電源制御が行えません。Standardエディションなど有償ライセンス製品をご利用ください。
- 仮想サーバ(ESXi/ESX)および(ESXi/ESX上で動作する)仮想マシンには、電源制御ソフトウェアのインストールは不要です。制御端末のライセンス管理ツールにてESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのライセンスキーを登録してください。

４.２　共有フォルダ関連

Windows マシンにインストールした ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションでは、ネットワーク機能を提供するために、以下の共有フォルダを設定しています。

フォルダ名	共有名	デフォルトのアクセス権
(インストールフォルダ)¥DATA	ARCDATA	Administrators フルコントロール

表 4-1

「ARCDATA」の共有フォルダは、ESMPRO/AutomaticRunningController + ESMPRO/AC Enterprise がインストールされたサーバ上の GUI からリモート接続する場合に使用します。

４.３　ウィルススキャンソフト関連

ウィルススキャンソフトがインストールされた環境で運用される場合は、以下のファイルをスキャン対象外に設定してください。

ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプションのインストールディレクトリの DATA 配下にある SCHEBASE.APC

例）インストール先が C:¥Program Files (x86)¥AUTORC の場合
C:¥Program Files (x86)¥AUTORC¥DATA¥SCHEBASE.APC
をスキャン対象外に設定してください。

4.4　WebSAM SigmaSystemCenter の管理対象サーバ関連

(1) 連動端末を「SSC管理対象サーバ」として登録する場合は、
AMCの連動端末設定画面(「連動端末(サーバ情報)」ダイアログ)の
「SSC管理対象サーバ」チェックを有効にします。

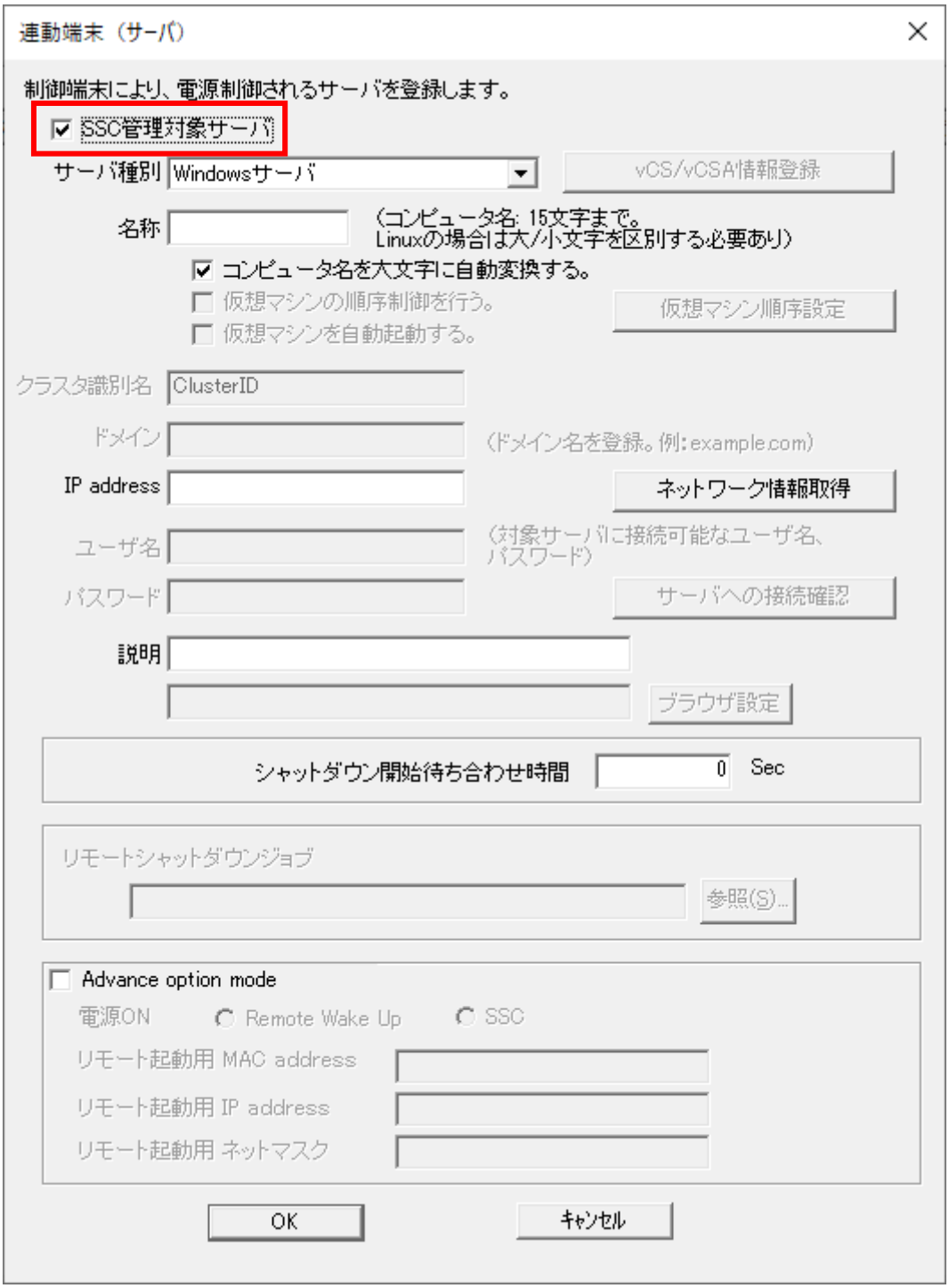

図 4.4-1

(2) 連動端末を「SSC管理対象サーバ」として登録し、リモート起動を行うために「Advance option mode」を有効にします。

「Remote Wake Up」を選択する場合は、Wake On LANによる起動ができるように、BIOS設定においてWake On LANの設定を有効にしてください。また、サーバ装置のBIOSの設定でAC-LINKを「Power ON」にしておいてください。BIOSの設定変更の方法については、サーバにより異なりますので、サーバ本体添付のマニュアルを参照してください。なお、AC-LINKは、サーバ機種により「After Power Failure」あるいは「Automatic Power-On」と記載されている場合があります。

「SSC」を選択した場合は、AC-LINKを「Stay OFF」(UPSから電源が供給されても電源をOFFのままにする)に設定してください。その上でWebSAM SigmaSystemCenter側にてOut-of-Bandの設定を行なってください。

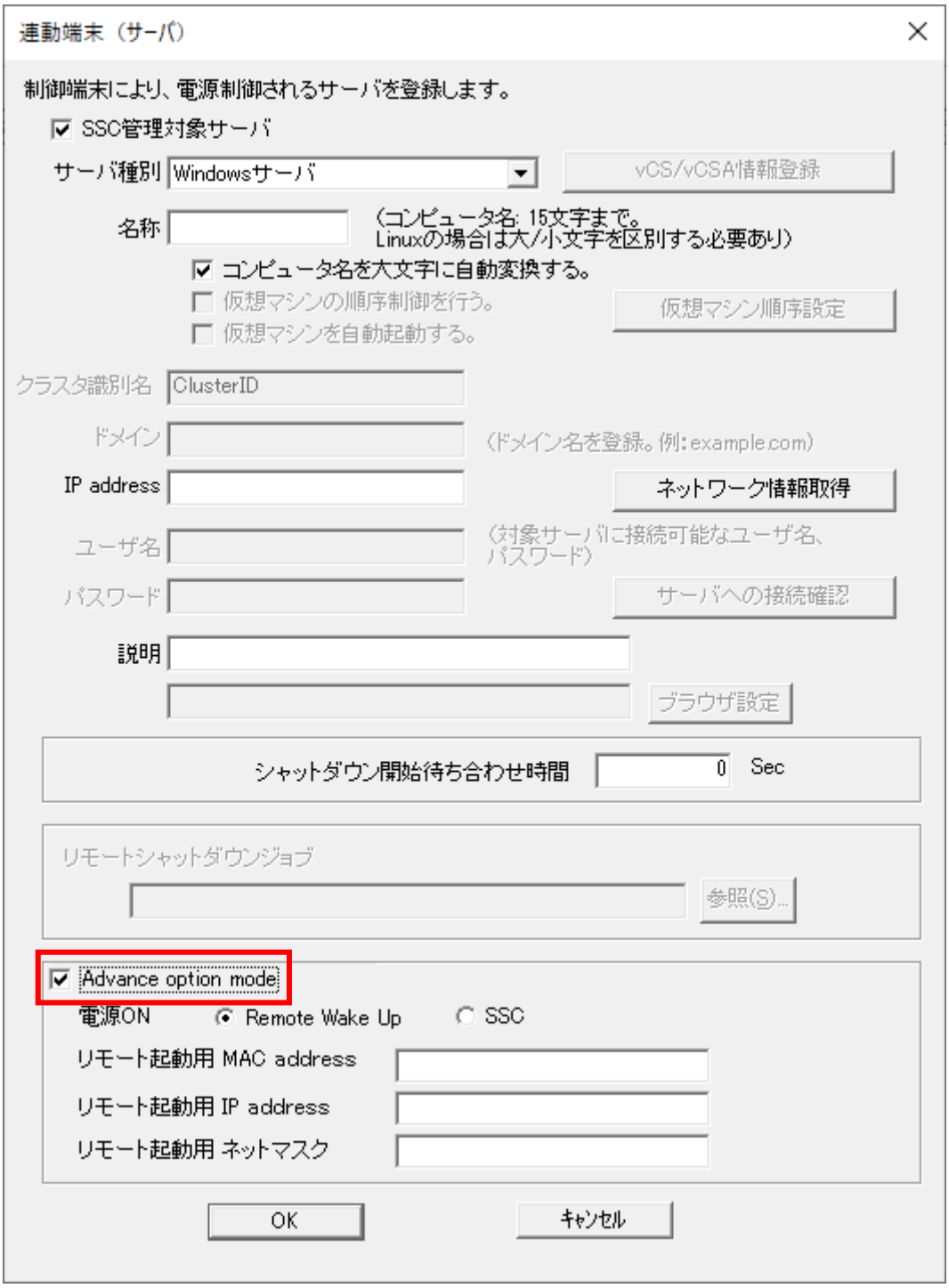

図 4.4-2

第５章　用語集

No	用語	説明
1	ESMPRO Platform Management Kit	ESMPRO の各種ソフトウェアを格納したソフトウェアパッケージ。
2	ESMPRO/AutomaticRunningController	無停電電源装置(UPS)を使用したサーバの自動電源制御機能を提供するソフトウェア。
3	ESMPRO/AC Enterprise	SNMP カード付き無停電電源装置(UPS)と接続した複数のサーバや共有ディスクの電源管理機能を提供するソフトウェア。本ソフトウェアは「ESMPRO/AutomaticRunningController」のオプションパッケージ。
4	ESMPRO/AC Advance	無停電電源装置(UPS)を接続しない複数のサーバの自動運転機能を提供するソフトウェア。本ソフトウェアは「ESMPRO/AutomaticRunningController」のオプションパッケージ。
5	ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション	「ESMPRO/AC Advance」サーバ管理機能のオプションパッケージ。
6	ESMPRO/AC Enterprise(クライアント)	無停電電源装置(UPS)とサーバを監視する機能を持つパッケージ。
7	ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション	「ESMPRO/AC Enterprise」サーバ管理機能のオプションパッケージ。
8	ESMPRO/AC MSCS オプション	WSFC(Windows Server Failover Cluster)または MSCS(Microsoft Cluster Service)によるクラスタ環境の電源管理機能を提供するソフトウェア。本ソフトウェアは「ESMPRO/AutomaticRunningController」＋「ESMPRO/AC Enterprise」環境のオプションパッケージ。
9	ESMPRO/ServerManager	ネットワーク上のサーバを管理・監視するサーバ管理ソフトウェア。
10	ESMPRO Extension for Windows Admin Center	Windows Admin Center に対して Express5800 サーバのハードウェア情報を表示するためのプラグイン。
11	ESMPRO/ServerAgent	ESMPRO/ServerManager と連携し、サーバの監視および各種情報を取得するためのソフトウェア。
12	ESMPRO/ServerAgentService	ESMPRO/ServerAgent の後継ソフトウェア。
13	ExpressUpdate Agent	管理対象サーバにてファームウェア、ソフトウェアなどのモジュールを ESMPRO/ServerManager によってリモートから更新することを可能とするソフトウェア。
14	WebSAM iStorageManager	ストレージリソースを効率的に一元管理し、構成表示、状態監視、障害通知を行うソフトウェア。
15	Windows Admin Center	Microsoft が提供する Web ブラウザベースのサーバ管理ソフトウェア。
16	BMC	Baseboard Management Controller システムの状態や OS に依存することなく、ハードウェアの状態・異常を監視できる Embedded controller。
17	EXPRESSSCOPE エンジン	BMC を用いて実現している NEC 製管理用コントローラ。
18	BMC（EXPRESSSCOPE エンジン）	EXPRESSSCOPE エンジン 3 搭載の装置
19	BMC（その他）	以下以外の装置。 ・BMC（EXPRESSSCOPE エンジン） ・iLO ・vPro
20	iLO	Integrated Lights-Out 標準インターフェース仕様の IPMI2.0 に準拠してハードウェアを監視するコントローラ。

21	vPro	インテルの企業向けプラットフォーム・ブランド（Intel® vPro™ テクノロジ）。
22	iAMT	Intel® Active Management Technology vPro を構成する主要機能の１つで、リモート管理をコントロールする技術。
23	SOL	Serial Over LAN Serial に出力されるデータを BMC が UDP Packet 化して LAN 経由で送信する機能。
24	WS-Man	Web Service Management IT システム全体の管理情報にアクセスするための共通手段を提供する技術仕様。
25	クラシックモード	ESMPRO/ServerManager Ver.7 から起動する ESMPRO/ServerManager Ver.6 相当のユーザーインターフェイス。 サーバの詳細情報表示や ESMPRO/ServerManager の環境設定を行う。
26	コンポーネント	ESMPRO/ServerManager 上で管理する装置。
27	システム管理	ESMPRO/ServerManager で SNMP (ESMPRO/ServerAgent) / WS-Man を使用してコンポーネントを管理すること。
28	ダッシュボード	さまざまなコンポーネントの状態や詳細情報を統合して表示する管理画面。
29	ライセンスキー	ESMPRO のソフトウェアのライセンスを登録するためのキー。
30	インポート	ESMPRO インストールツールのライセンス・バージョン管理においてライセンスキーをソフトウェアに送信し、ライセンスを登録すること。
31	エクスポート	ESMPRO インストールツールのライセンス・バージョン管理においてソフトウェアに登録されたライセンスキーを取得すること。
32	WebSAM AlertManager	ESMPRO/ServerManager、ESMPRO/ServerAgentService、ESMPRO/ServerAgent などの関連製品の通報機能を拡張するソフトウェア。
33	iStorage (M シリーズ) ESMPRO/ServerManager 連携モジュール	ESMPRO/ServerManager から iStorage の監視をするために必要な連携ソフトウェア。
34	[まとめて設定]	ESMPRO/ServerManager が管理しているコンポーネントの一括設定および設定のダウンロードを行う拡張機能。 以下の設定が可能です。 ・AC Management Console で電源管理設定を行った Express サーバと無停電電源装置（UPS）の設定 ・以下のソフトウェアがインストールされている装置の通報設定。 - ESMPRO/ServerAgent(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgent for GuestOS(Windows) - 他社機版 ESMPRO/ServerAgent(Windows) 以下のソフトウェアがインストールされている装置のリソース監視設定。 - ESMPRO/ServerAgentService(Windows) - ESMPRO/ServerAgentService(Linux) 本ガイドでは、まとめて設定機能を[まとめて設定]と記載。
35	拡張機能	ESMPRO/ServerManager では、拡張機能として以下の機能を提供。

		・イベントトリガーアクション ・[まとめて設定] 拡張機能を使用するには、ESMPRO/ServerManager 拡張機能マネージャライセンスおよび、管理対象機器台数に応じてESMPRO/ServerManager 拡張機能ノードライセンスが必要。 詳細は「ESMPRO/ServerManager Ver.7 インストレーションガイド(Windows)」を参照してください。
36	Microsoft Teams	米国 Microsoft Corporation が提供するコミュニケーションツール。
37	イベントトリガーアクション	ESMPRO/ServerManager が受信したアラートを契機に、指定するアクションを実行する拡張機能。 指定可能なアクションは以下のとおり。 ・メール通報 ・Microsoft Teams 通報

表 5-1